

# AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより 第39号

## 運命を楽しむ余裕

法経商教授 中村嘉孝



UBC Irving K. Barber Learning Centre

一般に大学の先生は小さい頃から本に親しみ、大の読書好きというイメージがあり、現実にもほぼその通りだと思います。一方私は恥ずかしながらその例外に属し、子供の頃から学部学生の頃まで読書をほとんどせず関心もなく、卒業後は一般企業へ就職しました。本や図書館との本格的な出会いはその後退職し、大学院生になってから、というかなり遅いものでした。

当時の大学院は地味な存在で院生の読書量は桁違いに多く、私は当初、大学院授業や雑談をほとんど理解できず、専門分野であれば何とかごまかすことができたとしても、それを支える思想教養の欠落に直面し、背伸びして世界を間違ってしまったと本気で焦りました。しばらく逡巡しこれも運命と覚悟を決め、教えてもらった岩波文庫、講談社学術、中公バックス系を片っ端から大学生協で購入し京都の下宿で読み始めました。また一方で専門分野（英語文献）の発表が毎週30頁超

あり、院生は私だけの指導教授と一対一、また最悪なことに（今は最高の師と深謝）脚注文献をコピーし赤線でびっしり予習される超真面目な先生で「大学院の勉強はここまでしろ」という厳しいご指導を受けました。専門分野と思想教養の両立は精神的にも重圧で、テレビを即撤去し（当然にインターネットや携帯なし）部屋には日経新聞とラジオだけの背水の陣で猛烈に読書を始めました。

半年もすると読み物がないと落ち着かない程に読書が習慣化しましたが、また悩みが出てきました。正直理解できない、というかじっくりこないのです。大学院同期や先輩から教えてもらった本を真面目に読み理解・納得できない事実は、私の研究者資質が欠落しているのではないかと大きな不安を抱える中、偶然に Hayek（1974年ノーベル経済学賞）の『市場・知識・自由』を読み、



UBC Walter C Korner Library



自宅裏庭の野生のリスや  
親子 Raccoon に癒されます。

初めて腑に落ちる  
実感を得、その後  
Mises、Burke に  
傾倒し現在に至っ  
ています。今から  
振り返ると、大  
学院で紹介された  
岩波系はルソー、

ヘーゲル等のマル

クス系（左翼）ばかりで、階級闘争の資本主義が行き詰り、革命により解放され社会・共産主義が実現する「進歩主義史観」に基づくもので、私の所属する商学部は搾取の典型で悪、という解釈評価になります。左翼は生産、特に農業重視（旧ソ連国旗の鎚と鎌がその象徴）で流通（商業）＝搾取（悪）という構図で、『空想から科学へ』によるとバクーニンの空想ではなく科学的必然であるという。しかし現実とは全く逆で、社会主義国は停滞し、資本主義国は大いに発展している現状を理論的に全く説明できておらず、私は当初から大きな違和感がありました。



Burnaby 市にある名門の SFU。

紙数の関係から結  
論だけ述べると、私  
の理解では人間の  
本質について、左  
翼は進歩し続ける  
(developing)、右  
翼は進歩が完了し  
た (developed) 存

在と仮定し、前者 (Hegel) は教育啓発で私利私欲をなくし理性を高める人間礼賛の思想、後者 (Hume) は人間の私利私欲や嫉妬など喜怒哀楽の感情は進歩した結果 (developed) で教育により本質を変えることは不可能、という理性懐疑の思想であり、全く異なる前提に立脚しています。私は後者の解釈が正確で、科学技術自体は中立で大いに発展する一方、それを利用し判断する人間自体はそれほど理性的存在にはなりえない

め、与える影響や規模が大きい同じ様な現象が繰り返される（循環史観）と考えます。例えば戦争は人間自体が本当に進歩し理性的に判断できれば減少・消滅しているはずですが、現実には減少するどころか、兵器の科学技術向上のため死傷者の規模は桁違いに増加しています。人間の本質を正しく理解しないと、平和どころかむしろ危険や戦争を誘発し、「私有財産＝自由」(Hayek) から、私有財産を認めない共産社会では経済的繁栄どころか、思想や信条といった人間の内面的自由を意図せずに抑圧する結果を招いてしまいます。人間の感情・感性を善悪ではなく現実と肯定的に捉え、社会的有用性との両立の模索が重要です。企業や国家、社会は各人の意思決定に依存し運営され、人間本質の正確な理解がその前提となるため人間の内面を研究対象とする人文科学（文学・思想・



VPL Central にある唯一の日本語図書エリア。

哲学) に関する正確な認識が社会科学の研究においても不可欠と考えています。

私がこのエッセイでお伝えしたいことは、読書は何歳からでも始められること、権威を鵜呑みにせず自ら考察すること、運命を楽しむ余裕をもつことの三点です。文章が硬くなりすぎたため、昨年度在外研究で滞在したカナダの写真を添付します。延滞には罰金が課されネットでクレジット支払い可能な制度や、貸出や返却も一部自動化され、

大学キャンパス内は無線 LAN でネットに常時接続でき電源もいたるところにあり、便利で自然豊

かな環境で充実した研究生生活を送ることができました。

(なかむら よしたか)



UBC Walter C Korner Library  
を遠方から望む。



North Van の Lonsdale Quay。  
Sea Bus が発着しスキー場など  
自然豊かな Grouse Mt. へも行  
けます。



Vancouver Public Library, Central。  
外観はローマのコロッセオのようで  
とても美しい。

### 著書紹介

## あめりか いきものがたり 動物表象を読み解く

英米学科教授 辻本 庸子

環境破壊、遺伝子操作、あるいは地震災害、原発事故などが大きな社会問題となり、ヒトがどこまで動物や自然を支配できるのかということが問われる時代になっています。このような時代にあって、これまでアメリカにおいて動物表象がどのようになされてきたかを検証してみようと十二人の研究者が協力して執筆したのが本書です。

第一部、第二部では、ポー、メルヴィル、トウエイン、ヘミングウェイ、ピンチョンといったアメリカを代表する作家たちの作品における動物表象を論じています。さらに第三部では、ディズニー映画、演劇、環境運動や文化人類学におけるヒトと動物の関係などを明らかにしています。このように文学というベクトルと、文化や環境運動といったベクトルをあい対峙させ、それぞれの「いきもの」たちの「ものがたり」を響き合わせるにより、アメリカ文化に背骨として存在する、自然や動物とヒトの交信のあり方が見えてく



あめりか いきものがたり  
動物表象を読み解く

辻本庸子, 福岡和子編

臨川書店  
2013年6月発行

図書館所蔵  
N930.29-565  
N930.29-565B

るように思います。

世界のどこよりも早く国立公園を制定し動物保護に力を入れたアメリカ。しかし同時に経済効率を優先し、現実主義を貫くアメリカ。時には矛盾しながら、多面的な関係を自然と結ぶアメリカで、ヒトと動物と織りなす「いきものがたり」は何を語るのか。これらの問いを考えることは、今の時代に、そしてこれからの時代のために、とりわけ大切な営みではないでしょうか。

(つじもと ようこ)

## 秋の図書館イベント

### 第3回選書ツアーを開催しました

11月13日（水）の午後、ジュンク堂書店三宮店にて、第3回選書ツアーを行いました。今年は6人の参加者が約130冊の本を選びました。

分野としては、文芸、社会科学をはじめとして、芸術関係の美術書や書店関係の本も選書されていました。みなさんが外大図書館で所蔵が少ない分野に関して意識的に選んでくれている様子が伺え、大変感慨深かったです。

毎年選書ツアーで選ばれた本は、図書館閲覧室の入口にて展示をしています。今年も12月半ば頃に展示を開始する予定ですので、どうぞ楽しみにお待ちください。選書ツアー参加者自身による、手書きのPOPも添えられますので、どんな気持ちでその本を選んだのかが分かり、見ているだけでも面白いと思います。

（須浦）

～第3回選書ツアーの様子を少しだけご紹介！～



①ジュンク堂書店三宮店入口に集合後、店内5階に外大選書ツアー陣営を構えます。



②13:30 選書開始！  
これからの2時間が勝負です。  
各自、お目当ての階へ向かいます。



③真剣に悩んでいる様子。  
買い物かごも徐々に重みを増していることでしょう…。



⑤最後に参加者全員で記念撮影をしました。  
みなさん、本当にお疲れ様でした！  
ご参加ありがとうございました！



④15:30…選書終了！  
みなさんの選んだ本が外大陣営に集結しました。  
なんとダンボール3箱分です。

\*図書館員よりコメント\*

選書ツアーも3回目となりました。  
参加された方の間に、本が好きな人同士のつながりができるのを、毎回うれしく眺めています。そして、選ばれたどの本も面白そうです。今回も楽しいツアーになりました。ありがとうございました。（橋本）

洋装漢籍資料の遡及終了報告

## 洋装の漢籍資料約 1 万 8000 冊が、 OPAC で検索できるようになりました

図書館で所蔵している洋装の漢籍資料約 1 万 8000 冊が、OPAC(蔵書検索)で検索できるようになりました。

2013 年度の目録データ遡及入力事業が今年 10 月末に終了し、今回、約 1 万 6000 冊のデータが新たに登録されました。その中には、《三国演义》の版本で国内では本学のみが所蔵しているものや、「木魚歌」のテキストといった、北京図書館(中

国国家図書館)でも所蔵していないものなど、貴重な資料も数多くあります。

こういった貴重な資料を日常的に利用できることも、外大図書館を利用される方にとっての大きなメリットだと考えていますので、外大生や卒業生の皆さんをはじめ、より多くの方々のご利用をお待ちしております。

(柿本)



国内では当館のみが所蔵



北京図書館にも所蔵がない資料

先生の本を読もう！

## 教員著作コーナーができました

後期から教員著作コーナーができました。場所は閲覧室壁側の 39 番の棚です。

外大教員による著書や翻訳など集中的に設置していますので、知っている先生の本も一目瞭然！きっと見つかります。

気になる本があれば、ぜひ手にとって読んでみてください。このコーナーの本は、閲覧室の本と同じように借りることができますよ。



バーコード上部にご注目



気軽にスペイン語！

## スペイン語の児童書コーナーができました

2013年10月からスペイン語の児童書コーナーができました(閲覧室壁側の41番の棚)。絵本・読みものから百科事典まで子ども向けのやさしいスペイン語の本が揃っています。おなじみのグリム・アンデルセン童話からはじめるもよし、現代のストーリーを楽しむもよし、気軽に手にとってみてください。児童書コーナーの開設に合わせて、スペイン語の多読本もこのコーナーに移動しました。親しみやすい本でスペイン語読書生活を始めてみませんか？

(飯島)



## 図書館日誌 2013年7月～11月

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| -7.27 展示「司書のおすすめD」第21回                    | - 「大学生の本棚『はたらく』を考える編」設置       |
| 7.1-8.2 第4回 Re コース                        |                               |
| 7.31 Newsletter No.6 発行                   | 10.1-11.22 展示「司書のおすすめD」第22回   |
| 7月のゼミガイダンス 10回実施                          | 10月のゼミガイダンス 2回実施              |
| 8.14 子ども参観日                               | 11.1-11.29 第5回 Re コース         |
| 8.11/25 オープンキャンパス(専攻言語の図書展示、司書による書庫見学ツアー) | 11.1 Newsletter No.7 発行       |
| 8.16-23 蔵書点検・書庫雑誌移動                       | 11.12-11.13 トライやるウィーク(2校4名受入) |
| 8.26 教員著作コーナー設置                           | 11.13 選書ツアー                   |
| - スペイン語児童書コーナー設置                          | 11月のゼミガイダンス 2回実施              |
| - 「大学生の本棚『スタディスキルズ』を磨く編」設置                |                               |

AD ALTIORA SEMPER 神戸市外国語大学学術情報センターだより 第39号 ISSN 0919-2336

「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL：078-794-8151 / FAX：078-797-2257

URL：http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/

2013年11月29日発行 発行責任者：センター長 益岡隆志